

週報



2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう

2016 年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2016 年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動強化
3. 二世圏活性化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

(旧 世界基督教統一神霊協会)

加賀家庭教会

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION
KAGA FAMILY CHURCH

教会長：石垣 重広

み 言

「 私たちは伝道師 」

(真の父母經 P467~468)

17 神様は、第一線から息子、娘を訪ねてこられます。端から訪ねて上がってこられるのです。神様は、天民思想をもっている信仰者を必要とされます。皆さんは民族の底から歩まなければなりません。この世界をはっきりと見つめてください。世界情勢は、天の動きとともに回っていくので、皆さんは信念をもたなければなりません。

お父様は、皆さんを最後の勝利者にするために、三年を期限としてこの道を開拓しているのであり、皆さんを修練させるのです。

18 私たちに悲しみがあるとしても、神様の悲しみを知る私たちは、それを嘆くのをやめましょう。民族の前に進み出て、「あなたたちのすべての悲しみを私たちに告げなさい」と言いながら、彼らの悲しみに責任をもち、死と犠牲と忍耐で防ぎ止めようと進み出る群れがいるとすれば、その群れは神様のみ旨を身代わりした生きる実体として、この地上の善と悪を審判できる主人になります。神様はどの民族、どの教派からそのような群れが現れるかと、六千年間、待ち望んでこられました。私たち以上に苦痛を受け、私たち以上に死の峠を越え、私たち以上に哀痛な曲折の心情を抱き、安息の基盤を探し出せないまま、苦しみながら訪ねてこられたのです。

私たちは、このような父の姿を理解してさしあげなければなりません。父のこのよ

うな姿を知り、父が歴史路程において苦勞されたのも「私」のゆえであり、この時代において摂理のみ旨のために苦勞されるのも私のゆえであり、未来の希望のために苦勞されるのも私のゆえなので、私のために苦勞される父のみ前に孝子になるべき定めがあることを知らなければなりません。これに対して「万民に代わって責任をもとう」と言って立ち上がる人たちだけが、新しい時代の役軍になるのであり、新しい時代の天の仕事を引き受けて処理できる人になるのです。

19 伝道師修練会を終えた皆さんは、韓国の各地に出発しなければなりません。国を思って憂える人は愛国者であり、神様を思って憂える人は神様の息子、娘です。国のために働く人は、国の将来のために心配する子女を生むのです。世界的に見るときにも、このような民族と国民をもった国は滅びませんでした。そのような人々だけが、古い歴史を正すことができます。

皆さんは、神様の心情と願いと事情に一致する人にならなければなりません。自分の体と心の生活のことを心配しないでください。まず、訪ねていく村のことを心配してください。そこにも、神様の願いと事情と心情があります。皆さんの憂いは、罪惡の息子、娘たちを神様の息子、娘にするためのものでなければなりません。今日、個人、社会、民族、国家、世界を、神様が憂えていらっしゃることを忘れてはいけません。お父様は、四十年の生涯において、これを一時も忘れたことがありません。